

1 『図書室の先生の、放課後シヨタ食い教育日誌』ASMR脚本

2 3 4 ◆登場人物

5
6 ・文音（あやね）

7 ・主人公の通う学園の図書室の先生（司書）

8 ・物腰柔らかく、誰に対しても優しく接する性格で、生徒からも保護者からも大人気

9 ・その実、重度のシヨ○コンであり「放課後、先生と2人きりの時に秘密の合図を送ると、

10 エッチなことをしてくれる」という噂を学内に流し、合図を送ってきた生徒を（性的に）食べている。

11 ・無垢な相手が快樂におぼれていく姿を見るのが大好きで、気に入った相手とは何度も身体を重ねている。

12

13		
14		
15		【図書室の先生の、放課後シヨタ食い教育日誌】
16		・先生のヒミツ
17		場所…図書室・カウンター前
18		
19		・放課後、誰もいない図書室で、先生に声をかける主人公
20		「あら、君こんな時間にどうしたの？　もう閉館の時間よ？」
21	⑥中	
22		・主人公、先生に合図を送る。
23		・間
24		
25		
26		「…あら？」
27		「その合図の意味…理解してるのかな？」
28		
29		・主人公、頷くなどのアクション
30		・間
31		
32		「ふん…そう…そっか…ふふふ」
33		
34		・先生、カウンター横に移動
35		SE⑥中→④中：文音の足音（とことん）
36		
37		・優しく
38		
39	④中	
40		「じゃあ、中にどうぞ」
41		「カウンターではできないでしょ？　続きは資料室…でね？」
42		・主人公、指示に従ってカウンター横の扉からカウンター内へ
43		SE⑥中：主人公の歩く音（とんとん）
44		
45	⑥近	
46		「ふふ、君みたいな子から合図を送られるなんて、先生びっくりしちゃった」
47		「ううん、学年なんて関係ないよ」
48		SE：資料室の鍵を開ける音
49		SE：扉を開く音（ガチャ）
50		SE⑥近→⑥中：文音の扉を通る短い足音
51	⑥中	
52		「君が先生とそういうことしたいって思ったから、合図をくれたんだもんね」
53		
54		「ほら、入って」

55	・主人公、指示に従って資料室の中へ
56	SE⑥中：主人公の歩く音（とことこ）
57	SE②中：扉が閉まる音（ガチャ）
58	SE②中：文音の扉前に移動する一歩だけの足音
59	SE②中：鍵を閉める音
60	SE②中↓⑤近：文音の足音
61	
62	⑤近
63	
64	・主人公、服を脱がせてもらうことに恥ずかしい様子
65	
66	⑤近↓⑥近
67	「いいの。先生に任せて？　ね」
68	・主人公、しばらく考えた後、先生に任せることを決める
69	・間
70	
71	「ふふ、素直でいい子」
72	
73	・主人公、上をぬがされ
74	SE：衣擦れの音
75	
76	「それじゃあ、ズボンとパンツもぬがせちゃうからね」
77	
78	SE⑥中・下側：衣擦れの音
79	
80	・先生、主人公が勃起していることに気づき
81	
82	「…あら」
83	
84	・先生、嬉しそうに
85	
86	「もうこんなにしちゃって…先生とするの、楽しみにしてたんだ」
87	「全然恥ずかしいことじゃないのよ？」
88	「男の子はね、エッチなことをする時はみんなこうなるんだから」
89	「でも、君ならもつと大きくできそうね」
90	⑥近↓⑥接
91	
92	・先生、主人公にキス
93	
94	「ちゅっ…」
95	「んふっ、ちゅっ、ちゅっ…ちゅううつ…んちゅ、ちゅっ…ちゅっ…んふ、
96	はぁ…はぁ♡」
	⑥接↓⑦接

97

・主人公、思わず顔をそらし

98
99
100

「ふふ、驚いちゃった？ でも、これからもっとエッチなこと…するんだから」

101

「顔そらさないで？」

102

先生の方見て？」

103

⑦接↓⑥接

104

・主人公、先生の方を向き直し

105

106

「いい子♡」

107

「それじゃ、もう1回…ね？」

108

109

・デープキス

110

111

「ちゅっ…んちゅっ、ちゅっ…はあ…んっふっ♡ ちゅっ…ちゅっ…んちゅっ…」

112

「んちゅっ、れろ…♡ れろ…れろ…♡ んふっ♡ んちゅう、れちゅ、れろれりゅれちゅっ♡

113

んちゅ、んっれろれろ…れちゅっ、ぷちゅっ…んちゅっ…ぷはあ♡」

114

115

・興奮した様子で

116

117

「はあ…はあ…今のは大人のキス。エッチでしょ？」

118

「それじゃあ、そろそろ…」

119

120

・先生、主人公の耳元に顔を近づけ、囁き

121

SE：衣擦れの音

122

123

⑨接

「先生のおまんこ使って…君の初めてエッチ…しちゃおっか？」

124

125

・息を吹きかける

126

127

「ふ〜…」

128

「ふふ…それじゃあ…そのソファに横になってね？」

129

130

・主人公、指示に従ってソファの上へ横になる

131

SE⑥中：二人の歩く音（とんとん）

132

SE⑥中：主人公がソファに座る音

133

SE⑫中：ソファに横になる音

134

・先生、横になったあなたを見ながら

135

136

⑦中

「あら…エッチなお汁がヌルヌル出てる…♡」

137

「先生のおまんこに、はやく挿れたいのかな？」

138

「ふふ、いいよ。それじゃあ…」

139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180

・先生、スカートをたくし上げて、性器を見せる
SE：衣擦れの音

⑥中

「見て、これが先生のおまんこ…」
「これからここに、君のおちんちんが入るの」

・先生、ソファの上に登り
SE：衣擦れの音
・先生、近くで性器を見せながら
SE⑥中・下側：水音（クチュ）
・興奮した様子で

⑥近

「ふふ、先生のこども、エッチなお汁が出てるでしょ？」
「そう…男の子も、女の子も、エッチな気持ちになると、ヌルヌルになっちゃうの」

・先生、主人公と性器をこすり合わせ
SE⑥中・下側：水音（クチュクチュ）
・感じながら

「んっ…ふっ、はぁ…はぁ…♡」
「ふふ…準備はいい？」
「それじゃぁ…挿れるね？」

・先生、腰を降ろして騎乗位の体勢で挿入
SE⑥中・下側：挿入音

「はっ…んんっ…んんっ…ああ♡」
「これ…想像以上に♡ はっ…んんっ！」

「ふふ…見える？ おちんちん、飲み込んだじゃった♡」
「君のおちんちん、ここまで届いてるよ？」
「先生も…気持ち良くなっちゃうかも…」

・先生の言葉に、股間を反応させる主人公
・先生、股間の動きを感じ

SE⑥中：衣擦れ音

「くっ…んんっ！ ふふっ、また大きくなって…は、はっ…んんっ…♡」
「ビクビク…って震えちゃって♡」
「ふう…ふう…んんっ♡ でも、まだまだこれからだからね」
「もっともーっと、気持ち良くしてあげるから」

181
182
183

・先生、体勢を変えて
・腰を動かし始める

SE:ピストン音 (BPM: 60)・ゆっくり 開始 ※以下継続

184
185

「んっ…んっ…はっ…んんっ！ んんっ…はうつ、あっ、あっ！」

186
187

「ふっ…んんっ！ どちゅどちゅ、どちゅどちゅ♡」

188

「気持ちいい？ んっ、はっ…ふう…んんっ…♡」

189

⑥近↓⑥接

「先生は…とっても気持ちいい♡ 君のおちんちん…いいところにトントンって
当たってえ…んっ、ああ♡ はっ！ これ…いい…♡ んっ♡
んんっふうっ…んふっ、んんんっ！」

190
191
192
193
194
195

・囁き

⑥接↓⑧接

「んんっ、気持ちいい♡ 気持ちいい♡ んっ…2人で、もっともっと良くなろう…んんっねえ…」

196
197
198

「ふっ…ああ…んっ、んんっ…ん…ふふ…ムズムズしてきた？」

199

「でも、まだ駄目…もうちょっとだけ我慢だよ。」

200

「そしたら…もっともーっと気持ち良くなれるから♡」

201

・先生、感じながら焦らすように

202

「ああ…あんっ…あ…んっんっんっんっ！ 我慢…我慢…ぞわぞわしても…我慢我慢♡」
「んんん…そしたらっ…先生の中に…たくさんお射精していいからね♡」

204

・主人公、自分から腰を動かし始める

206

SE:ピストン音・ゆっくり 終了

208

SE:ピストン音 (BPM: 85)・早め 開始 ※以下継続

209

⑧接↓⑥接

「はっ…んんっ…！ ふっ…はっ！ んっ…はあ…！」

210

「ふふっ…自分から腰振っちゃって♡ かわいい…」

212

「うん…いいよっ、んっ…いい！ その調子で…もつと奥におちんちん挿れられるよう…
頑張ってみてっ！ んんっ…はっ…あっ、あっ、ああ…んん♡」

214

「ふーっ…ふーっ…それじゃあ…んっ、そろそろ…お射精の時間にしようね」

215

「先生も本気を出すから…好きな時にシーシーしていいからね」

216

「それじゃあ、いくよ…」

217

218

SE:ピストン音・早め 終了

219

SE:ピストン音 (BPM: 100)・高速・開始 ※以下継続

220

221
222

「あぁっ…んっ、ふう♡ んっ、んっ、んんっ、はっ…んんっ！」
「あぁっ、あっ、んん♡ んっ、んんんっ♡ ふふ、我慢してるの？」
もっと気持ち良くなりたいんだ…じゃあ…特別に…♡」
・先生、デープキス開始

「ちゅっ…むちゅっ♡ れろ…んちゅ…れろれろ…ちゅりゅっ…んちゅっ…
ふう…あっ…んん♡ れろれろ…れろちゅ…♡」

「はぁ…あっ♡ んちゅ、れちゅ…ちゅっ、ちゅうっ…んふ、れろれろ…れろちゅっ…

・先生、耳元に顔を近づけ

・SE：衣擦れの音

⑥接→③接

「んんっ♡ もう限界？ そうだよねっ」

「ほら、ほら、出しちゃえ、出しちゃえっ♡」

「んん…あぁっ…はっ、んっ…んん♡ 先生のおまんこの中に…シーシーしちゃお♡」

「先生の一番奥の奥に…来て、来て…出して…」

「せえ…の…びゅっびゅっびゅ…♡」

SE⑥中・下側：射精音

SE：ピストン音・高速・終了

「ふっ…ん！ 来たぁっ…んんっ、んっ、ふっ…んっ…んん♡」

・膣内で精液を受け止めながら

③接→⑥接

「はぁ…はぁ…まだ出てる…たくさん我慢したんだね。偉い偉い♡」

・間

⑥接→⑥近

「ふっ…初めてのエッチ…どうだった？」

「ふふ…先生も、とっても気持ちよかったよ♡」

「またお射精したくなったら…放課後、ここに来ていいからね？」

「先生、いつでも待ってるから♡」

・図書室の先生の、放課後シヨタ食い教育日誌 END (1903)